

物流はもとより、さまざまな産業分野で生産工程の業務請負など、幅広いソリューション事業を世界規模で展開する鴻池運輸。ルーツは約130年前の明治13年、大阪市此花区の伝法(当時は北伝法村)で、鴻池忠治郎氏が運輸業を興したことにさかのぼる。「企業が専門性を活かして社会に貢献できることは多い」と語る鴻池忠彦社長に、会社として、個人としての文化・芸術や社会貢献への思いをお聞きした。

心の交流を大切に 伝統文化継承と先端技術開発に貢献

プロ集団として地域への恩返し

鴻池家の菩提寺である此花区伝法の正蓮寺で、毎年8月26日、1721年から続く「川施餓鬼(かわせがき)」という伝統行事が行なわれています。船の上から檀家や一般の皆さんが戒名を書いた「経木(きょうぎ)」を流し、先祖の供養をする行事で、大阪市の「無形民俗文化財」にも指定されています。私どもは毎年、会社の船を淀川に出すとともに、船の乗り降りの誘導や安全確保など、運営のお手伝いをしています。不思議なことに、私の覚えている限り、雨が降ったことはありません。大きな魚が船に飛び込んできて驚くこともありますが、毎回心が洗われ、とてもすがすがしい気持ちになります。

おかげさまで、地域の役に立ちたいという思いは社員にも浸透しており、社員からの提案で、「130年分の恩返し」として、淀川の清掃をこれまで4回実施しました。毎回、ペットボトルや発泡スチロール、ボールなど、驚くほど大量のゴミを回収しています。そうしたボランティア活動だけではなく、私どもが社業を通じて環境や社会に貢献できるテーマも多いと思います。ロボット、冷凍、産業廃棄物処理、物流、その他、多岐にわたって、豊富な専門知識や経験を持つ社員が多くいますので、それを活かして地域社会に恩返しができると思っています。その一つが最先端の物流技術です。

小学生が働く喜びを知る

「KONOIKEキッズワークショップ」

今年4月、グランフロント大阪で、小学生を対象にした「KONOIKEキッズワークショップ」を開催しました。普段、子どもさんたちが物流の舞台裏を見る機会は少ないので、身近な例として、会場にネット通販の現場をつくり、実際の端末を操作しながら、受注から商品のピッキング、箱詰め、出荷までの工程を疑似体験してもらいました。お菓子を教材にして持ち帰ってもらうなど、手づくりのイベントならではのさまざまな工夫を凝らし、子どもさ

んたちも楽しく物流を学んでくれたようです。とても好評でしたので、今後も繰り返し継続的に開催して、仕事の流れや働く喜びをしっかりと伝え、その中から将来、物流の仕事をしたいと思う子どもさんが出てきてくれたら本望です。

国際親善イベント「コウノイケ・カップ2013」

昨年、私どもはベトナムでの事業開始から20周年を迎えました。同国へのお礼の意味も込めて、何か心の通う記念事業をしたいと考え、ホーチミン市のサッカー協会と大阪のNPOにご協力いただき、中学生のサッカー大会「コウノイケ・カップ2013」を企画しました。現地で行ったトーナメントで優勝した1チームを日本に招待し、11月に堺市のJグリーン堺サッカー場で、日本の中学生2チームとの交流戦を行ないました。

実力伯仲の熱戦を通じて、国際親善という貴重な経験をした中学生たちは、全身で喜びを表現していました。彼らが社会人になったときに、この日のことを思い出し、日本とベトナムの交流を深めるきっかけになればと思います。

海外チームの受け入れは非常に手間のかかることですが、代理店などに任せず、すべて社員が運営しました。試合当日も多くの社員が家族連れで応援に駆けつけてくれました。インドにも弊社の拠点がありますので、今回はベトナム・インド・日本で交流戦をし、将来はもっと参加国をふやして、国際的な友好の輪を広げていきたいと思っています。

大阪発「ロボットアーム」

鴻池技術研究所では、ロボット、冷凍、環境、物流の技術を研究しています。そのなかで、ロボット専門の会社との協働により、「ロボットアーム」を開発しました。元々は、輸入貨物をコンテナから手作業で降ろす際の、荷役の負担を軽減するためにはじめた研究でした。

現在、このロボットのデモ機をグランフロント大阪・ナレッジキャ

ピタルのThe Lab.に展示しています。多くの来場者が興味深く操作され、貴重なご意見も多くいただいています。大阪大学との共同研究講座でもロボットの活用を研究しており、いずれ、介護や身体の不自由な方の補助などの分野にも応用できればいいと思っています。

ナレッジキャピタルは大阪独自の誇るべき文化施設です。大阪に本社を置く企業として、いろんな形で活用し、応援していくつもりです。

関西・大阪の多彩な文化を守り育てたい

私は芸術全般が好きで、音楽や絵画もよく鑑賞します。小児病棟に長期入院している子どもたちのため、四季の変化が感じられる楽しい絵画を病院に寄贈したこともあります。また最近、昔取った杵柄で、アコースティック・ベースの演奏を趣味として楽しんでます。

関西・大阪には多彩な文化があります。挙げればきりがありませんが、たとえば、私の母方が道具商だった影響か、お茶の文化への憧憬があります。茶道の流儀や作法は日本特有のもので、非常に尊いと感じます。それは、日本のおもてなしの文化にも通じるものです。

ただ最近、そういったものが存亡の危機にさらされていることも事実です。価値ある資産を守り、育てたいという気持ちのある人は多いのに、寄付行為も課税対象になることが一つの大きな問題です*。文化・芸術の振興が経済にも大きな波及効果をもたらすことを、お役人にはなかなか理解してもらえません。企業経営も、短期的な利益を追うだけでは、中長期の事業展開はできません。文化も事業も、育てるには時間がかかるのです。文化・芸術を支援するた

めの寄付を、企業の費用と認めるような制度が整えば、関西・大阪はもっと豊かで文化の薫り高い国際都市になると思います。(※編集部註:特定公益増進法人への寄付には、税制上の優遇措置が講じられます。)



鴻池 忠彦(こうのいけ ただひこ)氏

1953(昭和28)年、大阪府生まれ。1976年関西学院大学商学部卒業後、(株)鴻池組に入社。1981年同社を退社し鴻池運輸に入社。1983年常務取締役、1987年専務取締役、1989年代表取締役副社長、2003年同社長に就任し、現在に至る。



正蓮寺・川施餓鬼
(2013年8月26日・此花区伝法)



淀川クリーンアップ活動
(2014年4月26日・此花区)



コウノイケ・カップ 2013(2013年11月・Jグリーン堺サッカー場)



ロボットアーム(デモ機)の展示
(2014年7月・グランフロント大阪)



KONOIKEキッズワークショップ
(2014年4月・グランフロント大阪)

鴻池運輸株式会社

本社 大阪市中央区備後町2-6-8 / 東京支社 東京都港区虎ノ門3-17-1

創業1945年。複合ソリューション事業、国内物流事業、国際物流業を展開。資本金16億8,800万円、売上高(連結)2315億円(2014年3月期)、従業員約20,000名(2014年4月1日現在)。